



市民がつくる環境都市こまき

こまき環境広報

編集:こまき環境市民会議

開催報告 2009いきいきこまき

「2009いきいきこまき」が開催されました。

11月21日(土)22日(日)の二日間、今年度はパークアリーナから小牧市民会館に会場を移し、盛大に開催されました。

環境フェアは、21日(土)COP10記念事業を生活展と合同イベントとして「さかなクンと学ぼう
—いのちのつながり—」と題し、約1,000人の市民が市民会館に集まり、環境に関するクイズをさかなクンが出題し、子どもたちが回答するという方法で行われました。

正解が出るたびに歓声が上がリ、さかなクンから回答を書いたB紙にサインをもらい大切に持ち帰りました。環境に関する意識向上が図られたと思いますが、子どもたちには環境にやさしい心を育ててほしいものです。



クイズが終わった後は、中日新聞論説委員の飯尾先生が中心となり、環境問題に関するディスカッションが行われました。最後にこまき環境市民会議の稲垣会長よりお礼の挨拶があり、記念事業が盛会のうちに終了しました。



22日(日)は「環境映画鑑賞会」を催し、多くの市民の方に環境映画「KIZUKI」を鑑賞頂きました。

この映画は、沖縄のサンゴ白蟻化問題を中心に環境問題で何が大切なのか、私たちは何をしなければいけないのかを問いかけるもので、鑑賞頂いた皆さんには、環境破壊の危機が迫っていることを実感していただけたと思います。参加者からは、「もっと多くの市民に見て頂かねば」という声が聞かれましたが、1人でも多くの市民にKIZUKIを見てほしいものです。

屋外イベントは

小牧市女性の会のみなさんが、自分たちで栽培したサツマイモを、菜種油で揚げてイモステックとして、また健康に良いハーブティーや暖かい汁粉も奉仕価格で提供していました。



屋内イベントは

マイバック作り、菜種油搾りの実演などを小牧市女性の会が、「小牧の自然歴史」の紹介、「白玉星草」や珍しい「天魚」の展示を小牧歴史自然の会が、「森の工作」をリトルトリーが、そのほか「たまごパズル」、「分別ゲーム」等が行われました。かわいい妖精エコリンも登場し、ゴミ減量グッズのプレゼントを行ったり、古紙リサイクル向上のための、数字パズルを回答した方に牛乳パックから再生したティッシュのプレゼントや、子どもたちが環境に対する思いを描いたポスターの展示があり、賑やかに環境に対する意識向上が図られた2日間でした。



菜種油搾り実演



妖精エコリン



幻の魚天魚



森の工作



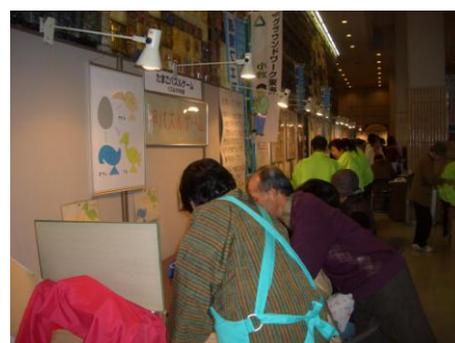
環境啓発ポスター



分別ゲーム



数字パズルゲーム (古紙リサイクル)



パズルゲーム

市民がつくる環境都市こまき

平成17年11月、小牧市は環境都市宣言をしました。

そして平成20年4月、罰則付き条例「快適で清潔なまちづくり条例」が施行されました。

生活環境をつくるのも、守るのも、こわすのも市民一人ひとりの心がけ次第です。環境にやさしい市民になって頂きたい……………

環境フェア はそんな願いで開催されています。